区長の行政報告を問う

①非課税ではない低所得者

討する。②喫緊の課題である

か。③国は、地域の実情に応

の取り組みにどう活用するの に関する調査」の結果を今後

じた対策推進等を目的として

施した「暮らしの状況と意識

15~46歳を対象とし、以前実

公明党議員団久保

りか

## 首都直下地震に備えよ

## 自由民主党議員団大内しんご

地震の規模はマグニチュー 携し、まず、自分自身の命を

うに検討しているのか。 ③近隣自治体との連携体制は の医療体制について、どのよ が必要ではないか。②災害時 で区民を巻き込んだ防災訓練 のとされている。①様々な形 る方の約70%が火災によるも と想定され、亡くなるとされ 災による死者数は1万6千人 内に70%から80%であり、火 ド7。発生確率は今後30年以 守ることについて普及啓発し

どのようになっているのか。 ①関係各機関と連

都が物資の提供等の支援をす 互間で連携・調整を図るほか 防災行政無線等により、区相 師会等と連携し、15カ所の医 大切さを普及していく。②医 ubeを作成し、初期消火の ていく。また、防災YouT 療救護所を設置している。③ ることとなっている。

## なかの東北応援まつりを問う

①今年の開催日及び実施規

模は。②経済波及効果は

を推計すると、およそ5億4 準備を進めている。②昨年度 に盛り上がる内容となるよう にわたって開催し、昨年同様

## 児童館運営の考え方を示せ

老朽化の課題等にどのように 館機能の検討は、これまでの 対応するのか。②今後の児童 ①今後の運営方法や施設の

についても検討を進める。 施設とし、条例上の取り扱い 上で進める。②利便性の高い

説明とどこがどう違うのか。 区 長 ①計画を策定した

千万円もの経済効果があった。 区 長 ①10月28日、29日

る効率化を図るとともに、ペ

区 長 ICTの活用によ

ーパーレスの取り組みも進め

を検討するべきではないか。

在り方も踏まえ、ICT化等

新庁舎移転後の認定事務の

学童の待機児童の解消を

今後の地域施設の有効活用

ていきたいと考えている。

を検討していく中で、子ども

の居場所事業を考えてみては。 区長検討を進める。

### 要介護認定事務の 都民ファーストの会中野区議団 迅速化や効率化を図れ 黒沢ゆか



効果検証を行い、子どもた

他のソフトウェア等の有効性 援を利用できるようにしては 教育長 導入事例を分析し

療健康相談や健康管理及び支

## タブレット端末を活用した 自殺防止対策を

についても研究していく。

ちと教職員が、SNS精神医

# 鷺ノ宮駅周辺のまちづくり

にぎわいの形成を問う

設けた後、区内の都立・私立

①備品整理期間を

自由民主党議員団武井まさき

時には説明会を開催するなど

とを検討している。②備品整

設として暫定貸し付けするこ 学校の建て替えに伴う代替施

と、東京都より聞いている。

用ができるよう検討していく。 理期間も含め閉校後の地域利

犯罪の抑止に繋げよ

公園の防犯カメラを増やし

防犯カメラを設置し

適時適切に情報提供していく

り、にぎわいが更に増加し、 むのか。②駅周辺の整備によ とする地域への情報発信につ 計画や工事の進捗状況を始め 通り)は、東京都が主体とな いて、今後どのように取り組 って実施している事業だが、 ①補助第133号線(中杉

の検討を進めていく。 ②協議・調整により、ハード・ ソフト両面によるまちづくり

区民に有益な施設活用をせよ

活気あふれる地域へと進化を 遂げていく必要がある。まち 管である産業振興課が縦割り つくりの所管と商店街等の所 月間の学校備品整理期間中も

活用予定は。②閉校後、9カ 小が閉校する。①両校の跡地 について、令和6年度以降の 今年度末で鷺宮小、西中野

次設置していくべきでは。

区 長 迷惑行為が目立つ

域の治安維持へと繋がる。順 ていくことで、公園や周辺地

行政を打破し、連携しては。 ①今後、工事着手 開放事業を継続すべきでは。

き続き設置を進めていく。

いる。この考えに基づき、引 公園等には優先的に設置して

立憲・国民・ネット・無所属議員団細野 かよこ 自立支援の視点に立った 女性施策の推進を

審議会を設置しては。③中野 定するに当たり、多くの区民 事業を推進するため、基本計 平等の視点が明確に規定され 性の福祉、人権の尊重、男女 区は23区で唯一スペースとし や団体の意見を反映するため、 画を策定すべきでは。②中野 の現場である中野区において なっているが、相談支援事業 ている。特別区は努力義務と 行される。この法律では、女 支援法)が、来年4月から施 への支援に関する法律(女性 区男女共同参画基本計画を改 ①困難な問題を抱える女性 を検討していく。 より、新たな支援の枠組みな しての男女共同参画センター どが求められているため、男 する。③女性支援法の施行に に当たっては、男女共同参画 である。②次回の計画の改定 め、その中に位置付ける予定 的に策定することができるた 男女共同参画基本計画と一体 本計画は、国の方針により、 える女性への支援に関する基 の在り方を検討すべきでは。 女共同参画センターの在り方 に関する審議会の設置を検討 区 長 ①困難な問題を抱

## ケアラー支援を重要課題に

期高齢者となる令和7年が迫 っている。ケアを必要とする 団塊の世代が75歳以上の後

うとしている今、スペースと

い支援の枠組みが構築されよ

性支援法の制定により、新し

ない自治体となっている。女 ての男女共同参画センターが

第 277 号

象として家計急変世帯を含め

高騰支援給付金で区独自の対

み強化についての考えを伺う。 度以降の事業の継続と取り組 の継続が望まれる。令和6年

成立を受け、対策を推進する

①孤独・孤立対策推進法の

ための体制として区の協議会

長 ①令和5年度価格

た。今後も支援策について検

世帯が極めて高い状況にある。 区の見解は。②中野区は単独 設置は必須であると考えるが 業としても効果が高く、事業 業は、区内保育園を支える事 行う保育ソーシャルワーク事

孤独・孤立対策を進めよ

では。③児童虐待を未然に防

育相談等において要支援家庭 する必要があると考える。養

査で明らかになり、ハイリス

と思われるケースがあった場

合は関係機関との連携を強化

し、虐待の未然防止に努める

充が必要であると捉えている

ュレーションアプローチの拡 クアプローチの強化と、ポピ

独・孤立施策を構築していく ③事業活用も視野に入れ、孤 しい状況となっているが、区 を国のスキームで行うのは難

の独自事業として事業を継続

検討していく。②自らSOS

区長①協議会の設置を

を発信出来ない人の存在が調

事業を活用するべきでは。

連携プラットフォーム推進事

「地方版孤独・孤立対策官民

業」を実施している。区も本

待機児童解消に取り組むべき 感を持ち、組織体制も強化し、 要がある。柔軟かつスピード のための緊急対策を進める必

止するために、養育相談等を

能な学童クラブ待機児童解消

ていく。③次年度以降、事業 かつ重点的に取り組みを進め

きた。区の見解は。②実現可 金事業を会派として要望して も対象とする、区独自の給付

区の組織体制を強化し、早急

と認識している。解消に向け、

# 病児・病後児保育の

実施体制を強化せ ょ

間 ひとみ

が安心して預けられ、働き続 では。④ベビーシッター利用 整備を行うべきでは。③病児・ ②病児・病後児保育の地域偏 のように整備していくのか。 けることができる環境を、ど 支援事業の認定事業者の中に めて協議を行う必要があるの について、総合東京病院と改 病後児保育の今後の実施体制 在解消と定員増に向け、体制 ①子どもが病気でも保護者 きたい。 な運営のための体制確保を求 めるため、協議を継続してい 携を深めながら取り組んでい 児保育を目的とする場合、利 な事業者もある。保育所等に は、病児・病後児保育が可能 いて検討していく。③安定的 く。②専用施設の確保等につ 用対象としては。 入所している方が病児・病後

保険事業計画」においては、 位置付けるべきではないか。 ケアラー支援を重要な課題に 者保健福祉計画・第9期介護 人が増える中、 区 長 ケアラーの課題を 「中野区高齢

不登校支援を問う

ついて検討していきたい。

な取り組みを推進している。 し、主体的に参加できるよう

④助成対象の拡大に

盛り込むことを検討していく。 改めて整理し、次期の計画に 不登校支援のためのガイドラ 文部科学省の示す「民間施設 を作成している。中野区でも、 についてのガイドライン(試 案)」を参考にガイドライン ①兵庫県などの自治体では、

①医療機関等と連 等の思いを加え、個別支援計 なる学校づくりを行っては。 画へと充実させていく。③子 重に検討していく。②保護者 況が異なることを考慮し、慎 ③校則の見直しを通じて対話 伴走型相談支援を行っては。 支援者・支援機関との連携の て、意見や考え、思いを表明 どもたちが様々な活動におい の文化を根付かせ、通いたく るよう個別支援計画を作成し、 もと、必要な学びを提供でき インを作成しては。②多様な ①一人ひとりの状

